

令和8年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (ワインディング) (必修課目)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		ワインディング技術の習得 国家試験課題の取り組み				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		1学年	総時数	465時間 (309時間)		
担 当 者		専任教員A、B、C、G、H (実務経験4年以上の者)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	ブロッキング、上巻きの練習		巻き始めるための準備を覚える 10ブロックを5分で取るための練習 コームの使い方、姿勢 指づかいを習得する		○
	5	上巻き、下巻きの練習 オールパーパスセンターの練習		センター15分で巻くことを目標とする 手早い作業ができるように 反復練習を行う		○
	6	前期中間試験 国家試験課題、センターの練習		衛生項目がしっかりできる ブロッキング5分、センター15分 オンベース、1/2オフベースを理解する		○
	7	国家試験課題、フロント・バックサイドの練習		スライスを覚える 引き出す角度を理解する		○
	8	国家試験課題巻き		タイムを意識する 立ち位置を覚える		○
	9	前期期末試験		面をきれいにするシェーブをする オールバックから35分		○
後 期	10	国家試験課題巻き		フロントとネープのラウンドを意識する 端をゆるませない巻きを覚える		○
	11	国家試験課題巻き		シンメトリーで収める		○
	12	後期中間試験		オールバックから30分		○
	1	国家試験課題巻き		タイムを縮めていく中で きれいな作品を作れるよう反復練習する		○
	2	国家試験課題巻き 進級試験		国家試験の採点項目を意識する オールバックから25分		○
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A~Dの4段階評価)				

令和8年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名	美容実習 (ワインディング) (必修課目)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集			
課 目 の 目 標	ワインディング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格					
履 修 学 科	美容科・ヘアメイク科					
履 修 学 年	2 学年	総時数	4 6 5 時間 (1 8 3 時間)			
担 当 者	専任教員D、F、I (実務経験4年以上の者) 専任教員E、J (実務経験2年以上)					
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	授業中のマナー・ルール説明 1年次の復讐 定期試験の衛生・採点基準説明		衛生・採点基準を理解し、タイム内に作品を仕上げる 技術チェック全頭20分		○
	5	スライス・シェーブ・巻き込み・毛束の広げ・目線 ステムの角度(オンベース、1/2オフベース) ゴム掛け・奥行きを合わせる		ブロッキングのセンターが真っすぐにとれる。 シェーブ、スライス線が正確にとれる。 センターの奥行きのバランス		○
	6	センター・バックサイド・サイド 全体の復讐・苦手箇所の徹底トレーニング フロント、Cラインの収まり		スライスが正確にとれる。 バックサイドがセンターに対して正確に収まり、両バックサイドがシンメトリーであること。		○
	7	全体のバランス 苦手箇所の徹底トレーニング 手直しトレーニング		タイム20分以内でセンターが真っすぐに収まり、バックサイドとサイドがシンメトリーであること。 前期期末試験 令和8年7月14日(火)		○
	8	基本確認 巻き込み、シェーブ、ステムの角度 苦手箇所の徹底トレーニング		センター、フロント、バックサイドを各ブロックごとにタイム内で完成度をあげていく。		○
	9	基本確認 巻き込み、シェーブ、ステムの角度 苦手箇所の徹底トレーニング		奥行き、左右のシンメトリー タイム内で完成度をあげていく。		○
後 期	10	基本確認 巻き込み、シェーブ、ステムの角度 苦手箇所の徹底トレーニング		全体のバランス、Cラインの収まり、手直し、 タイム内で完成度をあげていく。		○
	11	美容師国家試験実技第2課題発表 国家試験衛生・採点基準を理解する		国家試験採点基準をふまえて、センターが 真っすぐに収まり、左右のシンメトリー、Cラ インが正確に巻き収めることができる。		○
	12	全頭18分、手直し2分のタイムトレーニング 衛生道具、手順確認を並行して行う		国家試験に向け、全頭18分で巻き、手直し の時間を2分残しタイム内で巻き終わること。 技術チェック令和8年12月10日(木)		○
	1	全頭18分、手直し2分のタイムトレーニング 衛生道具、手順確認を並行して行う		卒業試験 令和9年1月22日(金) 国家試験合格基準を満たし、全頭20分で 巻く。		○
	2			第55回美容師国家試験実技 令和9年2月1日(月)～3日(水)		
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)					

令和8年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習（オールウェーブセッティング）（必修課目）	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		オールウェーブ技術の習得 国家試験課題の取り組み				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		1学年	総時数	465時間（156時間）		
担 当 者		専任教員A、B、C、G、H（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5					
	6					
	7	オールウェーブウィッグ作成		レザーカット ストレートパーマ、毛先パーマ		○
	8					
	9					
後 期	10	フィンガーウェーブ		コームの持ち方やローションの付け方を覚える 正しいハーフウェーブとリッジを学ぶ		○
	11	フィンガーウェーブ		ウェーブ幅のバランスを考える		○
	12					
	1	スカルプチュアカール		ピンの開け方、打ち方を覚える カールの作り方を学ぶ		○
	2	スカルプチャカール、フィンガーウェーブ 進級試験		カールの大きさ、ウェーブの幅を理解する。適正なリッジをつくる ウェーブとスカルプチュアカールの試験		○
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

課 目 名	美容実習（オールウェーブセッティング）（必修課目）		使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標	オールウェーブセッティング技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格					
履 修 学 科	美容科・ヘアメイク科					
履 修 学 年	2 学年	総時数	4 6 5 時間（1 8 3 時間）			
担 当 者	専任教員D、F、I（実務経験4年以上の者）専任教員E、J（実務経験2年以上）					
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	授業中のマナー、ルール説明 1年次の復讐 定期試験の衛生・採点基準説明		衛生・採点基準を理解し、タイム内に作品を仕上げる 技術チェック 全頭30分		○
	5	全体のバランス、2段目リッジの奥行 1段目～7段目フィンガーウェーブ、リッジの確認 スカルプチャーカール・リフトカール・メイポールカール		フィンガーウェーブ、リッジを正確に作るカールの収まりが正確である。		○
	6	全体のバランス、2段目リッジの奥行 1段目～7段目フィンガーウェーブ、リッジの確認 スカルプチャーカール・リフトカール・メイポールカール		ハーフウェーブ幅のバランス、カールスペースが正確にとれている。 カールの大きさ、毛先の処理が正確に行える。		○
	7	全体のバランス オープン・クローズのフェイスライン確認 メイポールカール、クロッキノールカールの確認 タイム調整 全頭25分		タイム25分以内でカール、フィンガーウェーブ、リッジが正確に作れる。 前期期末試験 令和8年7月15日(水)		○
	8	全体のバランス 左右のリッジの高さを合わせる カールとフィンガーウェーブの繋がり メイポールカール、クロッキノールカールの確認		タイム25分以内でカール、フィンガーウェーブ、リッジがバランス良く正確に作れる。		○
	9	全体のバランス 左右のリッジの高さを合わせる カールとフィンガーウェーブの繋がり メイポールカール、クロッキノールカールの確認		タイム25分以内でカール、フィンガーウェーブ、リッジがバランス良く正確に作れる。		○
後 期	10	全体のバランス 左右のリッジの高さを合わせる カールとフィンガーウェーブの繋がり メイポールカール、クロッキノールカールの確認		タイム25分以内でカール、フィンガーウェーブ、リッジがバランス良く正確に作れる。		○
	11	美容師国家試験実技第2課題発表 国家試験の衛生・採点基準を理解する		国家試験採点基準をふまえて、バランス、フィンガーウェーブ、ピンカールを正確に作る事が出来る。		○
	12	タイムトレーニング フィンガーウェーブ、リッジ 左右のリッジの高さを合わせる メイポールカール、クロッキノールカールの確認		国家試験に向け、全頭23分で作り、手直しの時間を2分残しタイム内で作り終わる事。 技術チェック令和8年12月10日(木)		○
	1	全頭23分、手直し2分のタイムトレーニング 衛生道具、手順確認も並行して行う		卒業実技試験 令和9年1月22日(金) 国家試験合格基準を満たし、全頭25分で作る。		○
	2			第55回美容師国家試験実技 令和9年2月1日(月)～3日(水)		
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準	実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）					

令和8年度 美容科、ヘアメイク科

課 目 名		美容実習 (カット) (必修課目)	使用教科書	美容師実技試験実技課題集		
課 目 の 目 標		カット技術の習得 美容師国家試験実技第2課題 合格				
履 修 学 科		美容科・ヘアメイク科				
履 修 学 年		2 学年	総時数	4 6 5 時間 (9 9 時間)		
担 当 者		専任教員D、F、I (実務経験4年以上の者) 専任教員E、J (実務経験2年以上)				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
後 期	10	美容師国家試験実技第1課題レイヤーカット 姿勢、手順 ブロッキング ガイド(第1・2・3ブロック)		作業手順を理解し、ブロッキングをとることが できる 展開図の理解 ガイドをつなげることができる		○
	11	国家試験の衛生・採点基準を理解する 20分タイムトレーニング		国家試験採点基準をふまえて、ヘムライン のつながりを正確にカットできる レイヤーのつながりを正確にカットできる チェックカットができる		○
	12	フロント・もみあげ・トップ・ネープの長さを正確に カットする レイヤーのつながり理解 20分タイムトレーニング		国家試験に向け、国家試験合格基準を満 たし20分でカットできる 技術チェック令和8年12月10日(木)		○
	1	ヘムライン、トップからフロント、トップから左右サ イド、トップからネープ、トップから両バックサ イドのつながり、第1ブロック・サイドのシンメトリー、 15分ベースカット、5分チェックカットのタイム		チェックカットが正確にできる 卒業試験 令和9年1月22日(金) 国家試験合格基準を満たし20分でカットで きる		○
	2			第55回美容師国家試験実技 令和9年2月1日(月)～3日(水)		
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				

課 目 名		フェイシャル実習	使用教科書	新エステティック学 技術編 I		
課 目 の 目 標		フェイシャルエステティックの基礎技術を習得する JEOエステティシャンセンター試験合格				
履 修 学 科		トータルビューティー科				
履 修 学 年		1 学年	総時間数	1 2 6 時間		
担 当 者		専任教員K、L、兼任教員M（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	パッドセティング、ワゴンセティング、スチームカール、コットンなどの事前準備方法、ターボンの巻き方		衛生を保った事前準備方法を習得する		○
	5	セルフ体験（アルカウォータ、ディープクレンジング、吸引パック、マッサージ、超音波、高周波）		機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認と習得 様々な美容剤に触れ合い、お手入れとの関連性を習得する。		○
	6	クレンジング技術、ふき取り技術、マッサージ技術 ドール練習→相モデル		マッサージ技術の習得 身体、肩、手のスキントッチを習得する		○
	7	ブラシクレンジング、クレンジング～マッサージ～マスク 相モデル実習		理論の理解、機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし習得する 適切なスキントッチを習得する		○
	8	クレンジング～マッサージ～マスク 復習 前期修了試験		適切なスキントッチを習得する 試験対策と実技試験		○
	9	エレクトロクレンジング～イオン導入		理論の理解、機器の安全な操作方法、注意、禁忌事項の確認をし習得する		○
後 期	10	機器を組み合わせた練習		効果的な機器の選択ができるようになり、安全な取り扱いができるようになる。		○
	11	機器を組み合わせたトータル的なトリートメント		効果的なトリートメント技術ができるようになる。		○
	12	試験練習 進級試験		試験練習 進級試験		○
	1	自分の肌のカルテ作り、お手入れシート作成		正確なコンサルテーションから安全かつ、効果的なトリートメント技術を組み立てることができるようになる。		○
	2					
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

課 目 名		フェイシャル実習	使用教科書	新エステティック学 技術編 I		
課 目 の 目 標		フェイシャルエステティックの応用技術を習得する 日本エステティック協会上級認定エステティシャン試験合格				
履 修 学 科		トータルビューティー科				
履 修 学 年		2 学年	総時間数	1 6 5 時間		
担 当 者		専任教員K、L、兼任教員M（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4					
	5	1年次の復習（クレンジング、吸引、スチーマー、ブラシクレンジング、マッサージ、マスク等）		1年次に行った内容を再度確認し、それぞれの効果、注意事項、禁忌などを理解しているか		○
	6	コンサルテーションの説明とシートの記入練習 シートに基づく各手技、機器の選択		正確な肌分析と記入ができるか。適切な機器や粧材を選択できているか		○
	7	コンサルテーションの説明とシートの記入練習 シートに基づく各手技、機器の選択		正確な肌分析と記入ができるか。適切な機器や粧材を選択できているか		○
	8	認定上級エステティシャン試験要項説明		認定上級エステティシャン試験要項説明		○
	9	前期試験トレーニング 前期修了試験 （クレンジング～ディープクレンジング～機器～マッサージ～マスク～仕上げ）		正確なコンサルテーションの実施と、それに基づく各お手入れ内容を選択できるか 修了試験		○
後 期	10	上級試験の内容での相モデル実習		上級試験に向けて各機器、手技が適切に行われているか 効果、禁忌、注意事項を理解しているか		○
	11	上級試験内容での総合的なトレーニング 口頭試問対策 認定上級試験		効果、禁忌、注意事項、選択理由を口頭で説明できるようになる 上級試験		○
	12	ONEDAYエステ トレーニング		ONEDAYエステに向けて、お客様に提供できる技術を習得している。		○
	1	ONEDAYエステ トレーニング		ONEDAYエステに向けて、お客様に提供できる技術を習得している。		○
	2	ONEDAYエステ トレーニング		ONEDAYエステに向けて、お客様に提供できる技術を習得している。		○
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和8年度 トータルビューティー科

課 目 名		ボディ実習	使用教科書	新エステティック学 技術編 I		
課 目 の 目 標		ボディエステティックの基礎技術を習得する JE0エステティシャンセンター試験合格				
履 修 学 科		トータルビューティー科				
履 修 学 年		1 学年	総時間数	1 0 5 時間		
担 当 者		専任教員K、L、兼任教員M（実務経験4年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	実習室の使い方、ベッドセッティング、誘導、姿勢や体重移動、マッサージ前操作		誘導から前操作の習得ができています		○
	5	下肢うらマッサージ技術		誘導～下肢うらマッサージ技術の習得ができています		○
	6	下肢おもてマッサージ技術 G5 機器のデモと下肢うらの技術 サクシオン機器説明 操作方法		サクシオン機器の安全な操作方法、禁忌、注意事項の確認 正しいボディチェックの見方を習得している		○
	7	サクシオン機器技術		サクシオン機器の安全な操作方法、禁忌、注意事項の確認 確認試験		○
	8	コンサルテーション それに伴う技術理論（むくみ、脂肪、セルライト、ストレッチマークBMI）		正確なコンサルテーションの記入方法を学ぶ		○
	9	低周波機器 操作方法 前期試験練習 前期修了試験		低周波機器の安全な操作方法、禁忌、注意事項の確認ができる 前期修了試験		○
後 期	10	下肢スクラブとフットバス 腰背部のマッサージ		技術の習得 力加減や肌変化に気づくことができるようになる		○
	11	腰背部マッサージ 腹部マッサージ 低周波機器とマッサージの組み合わせ		手順や力加減、スピードなどを考慮し、正確なマッサージができる 低周波機器のパディングを理解している		○
	12	G5 機器とマッサージの組み合わせ		G5を正しく使用し、マッサージを組み合わせることでの効果を理解している。		○
	1	進級試験練習 進級試験		進級試験		○
	2					○
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。（A～Dの4段階評価）				

令和8年度 トータルビューティー科

課 目 名		ボディ実習	使用教科書	新エステティック学 技術編 I		
課 目 の 目 標		ボディエステティックの応用技術を習得する 日本エステティック協会 上級認定エステティシャン試験合格				
履 修 学 科		トータルビューティー科				
履 修 学 年		2 学年	総時間数	1 4 1 時間		
担 当 者		専任教員K、L、兼任教員M（実務経験4年以上の者） 兼任教員N（実務経験2年以上の者）				
年間の授業計画						
学期	月	学 習 内 容	時間数	評価の観点・考査等	授業の方法	
					講義	実習
前 期	4	G 5、低周波機器の復習 下肢マッサージの復習		正しく機器を使えることを再度確認する		○
	5	コンサルテーション 腰背部マッサージ 上級試験要項の説明 結果だし授業の説明		コンサルテーションの復習と確認ができる 腰背部のマッサージを適切に行うことができる		○
	6	結果だし 相モデル		各自コンサルテーションに基づくお手入れ内容で、 結果を出す事の楽しさと関連する機器や手 技、粧材の重要性を理解する		○
	7	上級試験練習 結果だし 相モデル 上級試験		継続することでの結果の現れを理解する 上級試験		○
	8					○
	9	背面マッサージ 学生模擬サロン (ONEDAY) 技術構築		背面のマッサージ 技術の確認ができる エステの技術を今までの知識と技術から考 え組み立てることができる		○
後 期	10	学生模擬サロン (ONEDAY) 技術構築・練習		学生模擬サロン (ONEDAY) オープンに向け てお客様へ提供する技術の練習ができてい る		○
	11	学生模擬サロン (ONEDAY) 技術構築・練習 修了試験		学生模擬サロン (ONEDAY) オープンに向け てお客様へ提供する技術の練習ができてい る		○
	12	学生模擬サロン (ONEDAY) 技術確認		学生模擬サロン (ONEDAY) オープンに向け てお客様へ提供する技術確認・準備ができ る		○
	1	学生模擬サロン (ONEDAY) 技術確認		学生模擬サロン (ONEDAY) オープンに向け てお客様へ提供する技術確認・準備ができ る		○
	2	学生模擬サロン (ONEDAY) 技術確認 修了試験		学生模擬サロン (ONEDAY) オープンに向け てお客様へ提供する技術確認・準備ができ る 修了試験		○
	3					
備 考						
卒業・進級の認定基準		実技成績は100点法で査定し、60点以上で合格とする。(A～Dの4段階評価)				